

4月になり、満開の桜も徐々に散りはじめ、若葉が芽吹いてきています。令和8年度がスタートし、4月から契約方法の見直しもスタートしています。昨年度は事故件数が33件と近年の最多でした。会員の皆様には、今年度は「事故ゼロ」を目指して、安全第一に取り組んでください。今年度の定時総会は、6月12日に開催しますので、多数の会員の皆さまの参加をお待ちしています、

1. 安全就業ニュース (全シ協の安全ニュース～2月号から)

1月は4件の重篤事故報告があり、死亡事故は3件です。

性別等	区分等	事故の状況	保護帽	安全帯	交通手段
男性 75歳	就業中 (死亡)	剪定作業を行っていた会員が倒れているのを依頼者が発見。救急車で搬送されたが1時間後に亡くなられた。警察署の現場検証及び検視の結果から、目撃者はいないが約2.5mの樹木の近くに8尺の三脚が設置しており、下がコンクリートだったため、転落または転倒の可能性がある。身体の右側を強打したものと推測される。	×	×	-
男性 78歳	途上 (死亡)	就業を終え帰宅中、歩道を歩いていた際に躓きそのまま後ろに転倒し、後頭部を強打した。通行人により救急搬送された。その後、一時期は意識が戻り治療をしていたが容態が急変し亡くなられた。	-	-	徒歩
男性 71歳	就業中 (死亡)	午前8時から午後5時まで林道の除草作業を10人で行い、以降は現場作業に本人は就業していない。就業日より1週間後、発熱を訴え病院を受診、胸部に咬傷が認められ、マダニ感染症の疑いあることから救急搬送され入院。重症熱症血小板減少症候群(SFTS)と診断されICUにて治療を継続するもその後亡くなられた。	○	-	-
男性 81歳	就業中 (入院)	庭木剪定作業のため、現場の準備をしていたところ転んで側溝に落ち、首を骨折した。	×	×	-

【安全上の課題と今後の対応】

《植木の剪定作業について》<墜落・転落>



必ず保護帽（ヘルメット）を着用しあご紐を確実に締めてください。脚立や梯子を使用する前に、まずは使用自体を避けられないか検討してください。一人作業は、重篤化のリスクが高まります。複数名での作業体制を徹底してください。複数で作業する場合も単独にならないよう、互いに視認できる位置を確保して作業してください。

2. 会費の納入について

前年度の会費が未納の方は、納入期限が6月末ですので、できるだけ早く納入願います。

3. 募集中のお仕事の紹介

募集中のお仕事の内容は、裏面に掲載しています。応募〆切は、4月24日（金）です。

募集一覧を見て関心のある仕事があれば、表の一番右側の欄の担当者までご相談ください。